



岩垣 和彦 議員

観光客数の増加と 経済の連動は

観光客入込み数の増加と市内経済は連動しているか実感が湧かない

【問】H28年入込観光客数は451万人前年比4%増、外国人観光客46.1万人前年比27%増とされた。H27年ペースで外国人は増加した感がある。しかし、推計上の観光客数から外国人を差し引くと国内観光客数400万人が来高していることになるが実感が湧かない。数値は実態とかい離していないか。また、市内の景況感は昨年の5月以降、一部の業種を除き上向きになっていない。市外に資金が流出していないか。市の見解と対応は

道路や駐車場の利用状況などを基に推計しており乖離していない。なお、観光客数の増加で宿泊業の業績が非常に好調で飲食や土産物の消費額についても前年を上回る見込み。今後は更に消費額や景気が上向くように情報通信端末の活用で事業者の情報発信や商品の高付加価値化、ファンを獲得に取り組むよう柔軟な経営感覚も必要。これまで飲食店等に対する情報発信力や広告・展示力強化へのセミナーも実施した。今後関係団体と連携し市内業者の収益増加に繋がる施策を積極的に開催する。

【答】入込者数の算出は市内観光施設の入込者数、宿泊施設の実績、



上嶋希代子 議員

高齢化社会にやさしいまちづくりを

高齢化社会を迎えての除雪計画について

【問】現在の高山市の除雪計画では「新積雪深10cm」となっているが、それを「除雪基準10cm」に見直す必要があると考え

【答】高齢化が進む中、高齢者の雪に対する問題は大きな課題であると認識している。今年のように一晩で雪が10cm以上降ると、道路に雪が残り、圧雪された状態に。仮に暖かくなり、路面が悪くなったときには出動している。

【問】排雪を重視した除雪計画にしないと住民は対応しきれない。

【答】常時排雪を重視した計画は困難であると考えている。高齢者に配慮した生活道路の重視を。



牛丸 尋幸 議員

新ごみ焼却施設は 住民合意で推進を 給食費の未納状況は

【問】新ごみ焼却施設建設について、昨年の3月議会の場で私が「この間の地元説明でも部長が言われたのは、ごみ焼却施設については地元4町内がそれぞれ合意されない限りは進められない、こういう説明だったことは間違いありません」と質問したことに対し、浦谷部長は「はい。4町内に合意をもらって事業を進めるといって考えています」と答弁しているが、市長も同じ考えか。

【答】そのことは理解をしている。

【問】現在のごみ焼却施設の性能保証期間は。

【答】焼却炉メーカーの性能保証期間は、平成31年3月まで。今後メーカーと協議して、保障期間の延長を行いたい。

【問】新ごみ焼却施設設計画が遅れてきたのは、市の全面的な責任ではないか。

【答】遅れてきたのは住民の方に責があるものではない。市の判断によってなったもの。今の焼却場を適正に維持管理して、安全に運転しなければと考えている。

【問】小中学校の給食費の未納の状況は。他市の調査によると「給料日前で手持ちが無かった」「銀行に支払いに行く時間が無かった」などの理由で未納になっている。悪意とは言えない。市の対応は。

【答】昨年12月末で延べ83世帯、約282万円未納になっている。未納の方にはそれぞれ事情があるので、ぜひ給食センターに相談いただきたい。